

「男の想い」について

向川原 慎一

オペラやミュージカルでは数々の場面でその心情を吐露する名曲が生まれてきました。今回の杏の会のステージは、その中から男性の様々な感情を表す歌を取り上げて、男声合唱で聴いて頂こうという趣向です。あえて「男の想い」というタイトルをつけることは、誤解や論議を呼ぶ恐れもありますが、やはり男性には男性特有の感情があるのだらうと思います。すなわち、夢への憧れとか恋心、自己顕示欲、羞恥心、勝利への執念、敗北感や焦燥感、あくなき前進意欲と向上心、などなど枚挙にいとまがありません。

皆さんは過去に映画や舞台でお聴きになった曲もあるでしょうが、このステージでは人生の裏表、酸いも甘いも経験した男たちの歌声をどうぞお聴き下さい。特に多感な少年時代を男子校で過ごしたこのメンバーにとっては、男として人生に向き合うという覚悟、またそうせざるを得ない機会が少なからずあった筈ですから、それぞれの曲の「想い」を実感をこめてお届けいたします。

PROFILE



向川原 慎一 (作編曲・合唱指揮)

早稲田大学卒業。長年にわたり合唱に携わり、現在8団体の合唱指揮・指導、講師を務めている。

「杏の会コンサート」では、2013年、R.ワグナーの「タンホイザー」の編曲、2016年「水のいのち」の指揮を担当した。合唱や室内楽の編曲のほか、歌曲を中心とした作曲活動では、2007年の奏楽堂・日本歌曲コンクール作曲部門(中田喜直賞の部)で谷川俊太郎の詩「はる」に作曲した作品が最優秀賞を受ける。

小林研一郎氏に師事。東海高校男声合唱団OB。



木村 一輝

これまでに数々のオペラ・ミュージカル作品に主要キャストにて出演。2018.11に上演されたオリジナル戦国ミュージカル「霸王の子」では織田信忠役として出演し、名古屋市民芸術祭にて特別賞を受賞。声楽を友森美文、小林史子、Marcella Reale、大槻孝志各氏に師事。自身が代表を務める総合芸術カンパニー Teatro蒼では、チャリティーコンサートやオペラ公演等を実施している。宗次ホール×テレビ愛知プロデュースコーラスユニット CocoRoni メンバー。レジェンド家康公天下泰平組(武将隊)にて服部半蔵正成としても活動している。



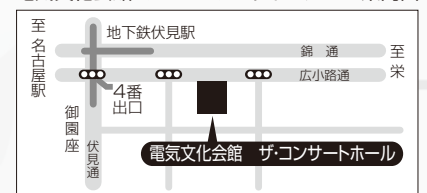
東海中学校・高等学校男声合唱部

私たちは、愛知県内の中学・高校で唯一の男声合唱団です。長い歴史を誇りますが、部員数が減少し活動が低迷した時期もありました。しかし近年、再び活動が活発になり、本校記念祭や各種学校行事等の校内での活動に留まらず、全日本合唱コンクールやNHK学校音楽コンクールへの出場、校外での各種コンサートへの出演、他校とのジョイントコンサートの開催、2019年には佐賀県で開催の全国総合文化祭に愛知県代表として出場するなど、さらに活動の幅を広げています。

杏の会

東海高校男声合唱団OB会。向川原慎一ら斯界でプロとして活動している会員も多い。現在は270余名の会員が在籍。

電気文化会館 ザ・コンサートホール ご案内図



地下鉄 東山線 鶴舞線「伏見」駅4番出口 東へ徒歩2分

2019 杏の会コンサート

2019年8月24日(土) 15:30開演(15:00開場)

会場 / 電気文化会館

入場料(全自由席) / 1,500円

チケットのお申し込み・お問い合わせ

杏の会事務局 杏の会

検索

<http://www.anzunokai.net/>

アイ・チケット

☎ 0570-00-5310 (10:00~17:00 日・祝休)

clanago.com/i-ticket (24時間対応・コンビニ・クレジット決済可)